

札幌美術展 五十嵐威暢の世界

2018年10月6日(土)-11月25日(日)
札幌芸術の森美術館

開館時間：午前9時45分-午後5時00分(入館は午後4時30分まで)

休館日：11月4日以降の月曜日

観覧料：一般1,000(800)円 高校・大学生700(560)円 小・中学生400(320)円

*()内は前売および20名以上の団体料金。

主催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、北海道新聞社



五十嵐威暢《MoMAポスターカレンダー
(1984年4月)》1984年 竹尾アーカイヴズ蔵



五十嵐威暢《彫刻「響」モデル》
1986年 竹尾アーカイヴズ蔵



五十嵐威暢《Imono花器 KAZE Vase (四角)》
1989年頃 竹尾アーカイヴズ蔵

日本を代表するデザイナーの一人である五十嵐威暢^{いがらし たけのぶ}。グラフィックデザイナーとして活動していた1970年代半ば、建築設計用製図台(ドラフター)を用いて二次元の文字を三次元におこした立体文字による作品で世界的に注目されます。また、サントリーや明治乳業、カルピス、サミットストアなどのロゴを手がけ、多くのロングライフデザインを生み出してきました。

1994年、五十嵐はデザイナーから彫刻家に転身します。肥沃な大地を思わせるテラコッタのレリーフ、木の葉や花のかたちに合板を切り抜いた「こもれび」シリーズなど、五十嵐による彫刻作品は、どこか自然の気配を残しながら、子どもの遊びのようにひたむきに素材と向き合い、創り出されています。

本展では、デザイナーとしての原点である1973年の個展から彫刻家としての現在までの仕事の変貌を示すポスター、プロダクト、彫刻、約150点が一堂に会します。「アートは日常の暮らしと風景によりそうことによって、人々の心をさらに豊かなものにする」と考え制作を続けてきた五十嵐による、デザインとアートが融合する無二の世界をお楽しみください。

五十嵐 威暢(いがらし・たけのぶ)

1944年北海道滝川市生まれ。多摩美術大学卒業後、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)大学院修士課程修了。グラフィックデザイナーとして活動していた1970年代半ば、アクソノメトリック(透視)図法によるアルファベット作品を発表し、世界的に注目される。千葉大学、UCLAで教鞭をとったほか、多摩美術大学美術学部二部学科長及び第9代学長を務め、現在、同大学名誉教授。代表作はニューヨーク近代美術館(MoMA)をはじめ、世界40カ所以上の公立美術館に永久収蔵されている。外務大臣表彰、勝見勝賞、毎日デザイン賞特別賞、IFデザイン賞、グッドデザイン賞など受賞多数。現在、北海道新十津川町のアトリエ「かぜのび」を拠点に、主にパブリック・アートの制作を続けている。

■アーティスト・トーク(予約不要)

本展出品作家五十嵐威暢氏に、これまでの歩みを振り返りながら、作品について語っていただきます。

日時：平成30年10月13日(土)14時～(1時間程度)

場所：札幌芸術の森美術館展示室

料金：無料(当日有効の観覧券が必要)

■対談 五十嵐威暢×原研哉(予約不要)

講師：五十嵐威暢(本展出品作家)、原研哉(グラフィックデザイナー)

日時：平成30年11月17日(土)14時～(1時間程度)

場所：札幌芸術の森美術館展示室

料金：無料(当日有効の観覧券が必要)

定員はございませんが、混雑状況によって入場制限を行うことがあります。

■ワークショップ(講師：五十嵐威暢氏/全年齢対象、要予約、各定員15名)

①「あそびから始めよう—500種類の紙」

株式会社竹尾製の質感や色の異なる紙「500種類の紙」を使って、ゆらゆら揺れるモビールを作ります。モビールの先端には五十嵐氏の作品《こもれび》のかけらを使います。

日時：平成30年11月3日(土・祝)13時～

料金：1,000円

②「あそびから始めよう—カッティングシート」

耐熱ガラスVISION GLASSに、透光性のあるカッティングシートを貼り付けて、スタンドグラス風キャンドルホルダーを作ります。

日時：平成30年11月4日(日)13時～

料金：1,900円

ワークショップ受付

札幌芸術の森美術館
TEL:011-591-0090
受付開始：9月17日(月)
受付時間：9:45-17:00